

1. 評価結果概要表

平成 20年 12月 14日

【評価実施概要】

事業所番号	2070500968		
法人名	NPO法人 ひだまり		
事業所名	グループホームこかけ		
所在地	長野県飯田市下久堅知久平1715-1 (電話) 0265-28-8110		
評価機関名	株式会社福祉経営サービス研究所 サービス評価推進室		
所在地	長野県松本市深志3丁目7番17号		
訪問調査日	平成20年11月16日	評価確定日	平成21年1月22日

【情報提供票より】(20年 9月 30日 事業所記入)

(1) 組織概要

開設年月日	平成 16年 9月 1日		
ユニット数	1 ユニット	利用定員数計	9 人
職員数	9 人	常勤6人	非常勤3人 常勤換算6.5人

(2) 建物概要

建物構造	木造 瓦屋根 モルタル 造り		
	2 階建ての		1 階部分

(3) 利用料金等(介護保険自己負担分を除く)

家賃(平均月額)	1日650×30=19500 円	その他の経費(月額)	1日 500 円
敷 金	無		
保証金の有無 (入居一時金含む)	無	有りの場合 償却の有無	無
食材料費	朝食	250 円	昼食 250 円
	夕食	350 円	おやつ 円
	または1日当たり 円		

(4) 利用者の概要 (9月 30日 現在)

利用者人数	9 名	男性 1 名	女性 8 名
要介護1	1名	要介護2	1名
要介護3	3名	要介護4	3名
要介護5	1名	要支援2	
年齢	平均 87.3 歳	最低 77 歳	最高 94 歳

(5) 協力医療機関

協力医療機関名	健和会病院
---------	-------

【外部評価で確認されたこの事業所の特徴】

下久堅地区の古くからの商店街にほど近い民家を改修して造られたホームである。家の周りには畑があり、昔からの家の雰囲気を残している。建物の中も普通の家と変わりない造りで、居間を兼ねた食堂はやや狭いが、ソファを置くなどみんながそれぞれにくつろげる工夫がされている。管理者の“利用してくださる方のペースで”という思いは職員にも共通しており、じっくりと話を聞きながやかな時間を過ごしている。ホームができることは地域の要望があるなど、開設当初から地域や近隣との関係は良好である。課題は多いが、ひとつずつ改善していこうという姿勢があり、今後さらに地域に根ざした、利用者によさしいホームとなることが期待できる。

【重点項目への取組状況】

重点項目	<p>前回評価での主な改善課題とその後の取組、改善状況(関連項目:外部4)</p> <p>前回の評価で課題となった「ホーム独自の運営理念の具体化」「職員の研修への参加」など、改善がされていない点がある。しかし、取り組み始めているので今後に期待したい。「思いや意向の把握」では、センター方式を取り入れ、少しずつ改善されてきている。</p> <p>今回の自己評価に対する取り組み状況(関連項目:外部4)</p> <p>一人づつ自己評価を行い取り組んできた。今後、今回の結果について話し合っていく計画を立てている。</p>
	<p>運営推進会議の主な討議内容及びそれを活かした取り組み(関連項目:外部4,5,6)</p> <p>ほぼ2ヶ月に1回、区長、民生委員、包括センター職員、家族が参加して運営推進委員会を開催している。状況の報告や課題について話し合っている。最近では、利用者が使いやすいように庭の整備について提案がなされ、整備がすめられた。また、緊急時には地域への協力をお願いし了承を得ることができた。最近では、看取り対象の利用者がおり、要望も出され、ホームの指針作りに取り掛かっている。</p>
重点項目	<p>家族の意見、苦情、不安への対応方法・運営への反映(関連項目:外部7,8)</p> <p>お便りは作っていないが、面会等来てくれている人には話をし、意見等聞いている。また、運営推進委員会の中で要望や苦情と聞いている。家族との連絡は、必要に応じて、電話や手紙、メール等でおこなっている。</p>
重点項目	<p>日常生活における地域との連携(関連項目:外部3)</p> <p>常会に加入しており、ごみ当番には出ている。近所の方が野菜を届けてくれたり、通りがてらに話をしにきてくれるなど日常的な関わりはある。中学生の「職場体験」や短大生のボランティアも受け入れている。今後は、さらに地域の行事やお祭りにも積極的に参加していく予定である。</p>

2. 評価結果 (詳細)

外部評価	自己評価	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	印 (取り組みを期待 したい項目)	取り組みを期待したい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
1. 理念に基づく運営					
1. 理念と共有					
1	1	地域密着型サービスとしての理念 地域の中でその人らしく暮らし続けることを支えていくサービスとして、事業所独自の理念をつくりあげている	法人の理念として、“人生の先輩として地域の中で暮らし続けて…”とあるが、ホームの理念としては位置づけられていない。以前、みんなで検討したがきちんとしないまま終わっている。		“地域の中での暮らすこと、利用者のペースにあわせた施設にしていきたい”など、管理者や職員の思いはあるので、是非早急に自分たちの理念を考え、それに向けたホーム作りをお願いしたい。
2	2	理念の共有と日々の取り組み 管理者と職員は、理念を共有し、理念の実践に向けて日々取り組んでいる	管理者が、会議や日々の生活のなかで、利用者のペースにあわせた介護について等話をしている。また、法人の理念が書かれたものが掲示されており、それがこのホームの理念として捉えている職員もいる。		ホームの理念を確立し、みんなで話し合って理念の実践を取り組むことが望まれる。
2. 地域との支えあい					
3	5	地域とのつきあい 事業所は孤立することなく地域の一員として、自治会、老人会、行事等、地域活動に参加し、地元の人々と交流することに努めている	開設当初から常会には参加しており、ごみ当番はやっている。通りがてらに近所の人と話をしていく、野菜を持ってきてくれるなど、日常的なつながりがある。さらに、もっと地域の行事等に積極的に参加ができるよう考えている。		
3. 理念を実践するための制度の理解と活用					
4	7	評価の意義の理解と活用 運営者、管理者、職員は、自己評価及び外部評価を実施する意義を理解し、評価を活かして具体的な改善に取り組んでいる	今回は、パート職員も含め、一人ずつ自己評価を行いまとめた。前回評価を受けたあと、計画性を持ってやっていこうと取り組んできた。今後、理念の作成も含め、今回の評価結果を踏まえて何から改善に取り組むか話し合いを持つ予定になっている。		

グループホームこかげ

外部評価	自己評価	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	印 (取り組みを期待 したい項目)	取り組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
5	8	<p>運営推進会議を活かした取り組み</p> <p>運営推進会議では、利用者やサービスの実際、評価への取り組み状況等について報告や話し合いを行い、そこでの意見をサービス向上に活かしている</p>	<p>区長、民生委員2人、地域包括支援センターのケアマネージャー、家族の参加で2ヶ月に1回開催している。その中で、緊急時の対応について地域の協力依頼を行ったり、提案のあった庭等の整備をすすめてきた。</p>		
6	9	<p>市町村との連携</p> <p>事業所は、市町村担当者と運営推進会議以外にも行き来する機会をつくり、市町村とともにサービスの質の向上に取り組んでいる</p>	<p>わからないこと等相談したり、必要時には連絡を取っている。</p>		
4. 理念を実践するための体制					
7	14	<p>家族等への報告</p> <p>事業所での利用者の暮らしぶりや健康状態、金銭管理、職員の異動等について、家族等に定期的及び個々にあわせた報告をしている</p>	<p>定期的には行っていないが、面会時に様子を話したり、必要に応じて電話・文書等で連絡をしている。</p>		
8	15	<p>運営に関する家族等意見の反映</p> <p>家族等が意見、不満、苦情を管理者や職員ならびに外部者へ表せる機会を設け、それらを運営に反映させている</p>	<p>面会の時や運営推進会議の際に聞いてはいるが、意識的に取り組んではない。</p>		<p>意見が言える機会を意識的に設け、意見を言いやすい雰囲気作り等検討されることが望まれる。また、出された意見や苦情については、運営に反映させる取組が望ましい。</p>
9	18	<p>職員の異動等による影響への配慮</p> <p>運営者は、利用者が馴染みの管理者や職員による支援を受けられるように、異動や離職を必要最小限に抑える努力をし、代わる場合は、利用者へのダメージを防ぐ配慮をしている</p>	<p>法人内での異動はあったが、大きな異動はなく影響については配慮をしている。</p>		

グループホームこかけ

外部評価	自己評価	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	印 (取り組みを期待 したい項目)	取り組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
5. 人材の育成と支援					
10	19	<p>職員を育てる取り組み</p> <p>運営者は、管理者や職員を段階に応じて育成するための計画をたて、法人内外の研修を受ける機会の確保や、働きながらトレーニングしていくことを進めている</p>	<p>今年度、積極的に取り組みたいと考えていたが、ほとんど研修等には参加できていない。参加しても、組織的な報告はされていない。</p>		<p>今後、是非組織的に研修計画を立て、職員みんなが、内外の研修に参加できるよう取り組んでいくことが望まれる。</p>
11	20	<p>同業者との交流を通じた向上</p> <p>運営者は、管理者や職員が地域の同業者と交流する機会を持ち、ネットワークづくりや勉強会、相互訪問等の活動を通じて、サービスの質を向上させていく取り組みをしている</p>	<p>施設見学や研修については受け入れているが、同業者との交流する機会はない。また、県あるいは近辺の地域のネットワークの中には参加していない。</p>		<p>地域あるいは県の中に、連絡会等の組織があり、勉強会や相互訪問等の取り組みを行っているので、これらの会に参加することを検討されることが望ましい。</p>
.安心と信頼に向けた関係づくりと支援					
1. 相談から利用に至るまでの関係づくりとその対応					
12	26	<p>馴染みながらのサービス利用</p> <p>本人が安心して、納得した上でサービスを利用するために、サービスをいきなり開始するのではなく、職員や他の利用者、場の雰囲気徐徐に馴染めるよう家族等と相談しながら工夫している</p>	<p>家族の見学だけでなく、できるだけ本人にも見学に来てもらい納得して利用できるようにしている。慣れる前に入居した時には、家族や他の利用者の協力をもらい早く慣れて安心して暮らせるようにしている。</p>		
2. 新たな関係づくりとこれまでの関係継続への支援					
13	27	<p>本人と共に過ごし支えあう関係</p> <p>職員は、本人を介護される一方の立場におかず、一緒に過ごしながら喜怒哀楽を共にし、本人から学んだり、支えあう関係を築いている</p>	<p>料理の仕方、この時期だと干し柿のつるし方、人生の先輩としての考え方や人との関係など、聞いたり教えてもらったりしている。</p>		

グループホームこかけ

外部評価	自己評価	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	印 (取り組みを期待 したい項目)	取り組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
. その人らしい暮らしを続けるためのケアマネジメント					
1. 一人ひとりの把握					
14	33	<p>思いや意向の把握</p> <p>一人ひとりの思いや暮らし方の希望、意向の把握に努めている。困難な場合は、本人本位に検討している</p>	<p>日常の会話の中、利用者の表情等から希望や意向の把握に努めている。また、最近センター方式を部分的に導入し、思いや希望等記録を始めた。</p>		
2. 本人がより良く暮らし続けるための介護計画の作成と見直し					
15	36	<p>チームでつくる利用者本位の介護計画</p> <p>本人がより良く暮らすための課題とケアのあり方について、本人、家族、必要な関係者と話し合い、それぞれの意見やアイデアを反映した介護計画を作成している</p>	<p>職員会議のなかでケアカンファレンスの時間を設け、担当者を中心に介護計画を作成している。面会時等、ケアプランについて家族に了解を得ている。</p>		
16	37	<p>現状に即した介護計画の見直し</p> <p>介護計画の期間に応じて見直しを行うとともに、見直し以前に対応できない変化が生じた場合は、本人、家族、必要な関係者と話し合い、現状に即した新たな計画を作成している</p>	<p>3ヶ月に1回定期的な見直しを行っている。また利用者の状況にあわせ、必要時には適宜見直し変更している。</p>		
3. 多機能性を活かした柔軟な支援					
17	39	<p>事業所の多機能性を活かした支援</p> <p>本人や家族の状況、その時々要望に応じて、事業所の多機能性を活かした柔軟な支援をしている</p>	<p>家族ができない場合通院介助を行っている。また、希望にあわせ、早期退院の支援やその後医療を受けながらホームを利用できるよう支援を行っている。</p>		

グループホームこかけ

外部評価	自己評価	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	印 (取り組みを期待 したい項目)	取り組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
4. 本人がより良く暮らし続けるための地域資源との協働					
18	43	<p>かかりつけ医の受診支援</p> <p>本人及び家族等の希望を大切に、納得が得られたかかりつけ医と事業所の関係を築きながら、適切な医療を受けられるように支援している</p>	<p>希望を聞いて、通院介助や往診で診てもらえるよう支援している。</p>		
19	47	<p>重度化や終末期に向けた方針の共有</p> <p>重度化した場合や終末期のあり方について、できるだけ早い段階から本人や家族等ならびにかかりつけ医等と繰り返し話し合い、全員で方針を共有している</p>	<p>利用開始時に話はしていない。現在、希望が出てきており、ホームの方針やどうしていくのか検討をしている。</p>		<p>家族や本人等から希望を聞く、ホームとしての方針を職員との話し合いを行って決めるなど、全員で取り組めるよう早急に検討した内容をまとめていくことが望まれる。</p>
. その人らしい暮らしを続けるための日々の支援					
1. その人らしい暮らしの支援					
(1) 一人ひとりの尊重					
20	50	<p>プライバシーの確保の徹底</p> <p>一人ひとりの誇りやプライバシーを損ねるような言葉かけや対応、記録等の個人情報の取り扱いをしていない</p>	<p>時には、プライバシーを損ねるような言葉かけをすることもありますが、そんな時は利用者に対してフォローしている。</p>		
21	52	<p>日々のその人らしい暮らし</p> <p>職員側の決まりや都合を優先するのではなく、一人ひとりのペースを大切に、その日をどのように過ごしたいか、希望にそって支援している</p>	<p>利用者に話を聞きながら、できるだけ利用者のペースにあわせて生活できるようにすすめている。</p>		

グループホームこかけ

外部評価	自己評価	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	印 (取り組みを期待 したい項目)	取り組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
(2) その人らしい暮らしを続けるための基本的な生活の支援					
22	54	食事を楽しむことのできる支援 食事が楽しみなものになるよう、一人ひとりの好みや力を活かしながら、利用者と職員と一緒に準備や食事、片付けをしている	調理の際には、皮をむく、切る、盛り付けるなどやってもらっている。食事は、職員も一緒に和やかに食べている。状況に応じて刻んだり、つぶしたりしている。		
23	57	入浴を楽しむことができる支援 曜日や時間帯を職員の都合で決めてしまわずに、一人ひとりの希望やタイミングに合わせて、入浴を楽しめるように支援している	週に2回～3回は入浴してもらえるよう誘い支援している。時間はPm4:00から行っている。		
(3) その人らしい暮らしを続けるための社会的な生活の支援					
24	59	役割、楽しみごと、気晴らしの支援 張り合いや喜びのある日々を過ごせるように、一人ひとりの生活歴や力を活かした役割、楽しみごと、気晴らしの支援をしている	洗濯、掃除、繕い物、柿の皮むきなどできること得意なことをやってもらっている。また、日向ぼっこや庭の散歩等楽しみをみつけて生活している。		
25	61	日常的な外出支援 事業所の中だけで過ごさずに、一人ひとりのその日の希望にそって、戸外に出かけられるよう支援している	散歩やドライブ、回覧板を持っていくなど出かけている。遠くに出かけられなくても、ホームの回りに出たりしている。		
(4) 安心と安全を支える支援					
26	66	鍵をかけないケアの実践 運営者及び全ての職員が、居室や日中玄関に鍵をかけることの弊害を理解しており、鍵をかけないケアに取り組んでいる	利用者の居場所や動きを職員間で把握するようにしている。玄関に、音が出るものをつけている。		

グループホームこかけ

外部評価	自己評価	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	印 (取り組みを期待 したい項目)	取り組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
27	71	<p>災害対策</p> <p>火災や地震、水害等の災害時に、昼夜を問わず利用者が避難できる方法を身につけ、日ごろより地域の人々の協力を得られるよう働きかけている</p>	<p>地域への協力依頼は運営推進会議を通じて行っている。現在は、地域と調整をはかりながら災害対策マニュアルを作成中である。避難訓練については行っていないが計画中である。</p>		<p>地域の協力も含めたマニュアルを早急に作成することが望ましい。また、実際の訓練も行っていないので、早急に行い、利用者、職員も安心して暮らせるように早急に取り組まれることを期待したい。</p>
(5) その人らしい暮らしを続けるための健康面の支援					
28	77	<p>栄養摂取や水分確保の支援</p> <p>食べる量や栄養バランス、水分量が一日を通じて確保できるよう、一人ひとりの状態や力、習慣に応じた支援をしている</p>	<p>食事量や水分量のチェックは行っている。利用者の状況にあわせて食べやすいように小さくしたり等援助している。しかし、栄養バランスが一人ひとりに合っているのか目安になる体重管理が行われていない。献立内容についても、乳製品のメニューが少ないなど気になる点がある。</p>		<p>体重管理は、健康状態の把握の目安にもなるので、定期的に測定を行うよう体制を取ることが望まれる。また、献立内容についても、専門家にみてもらいアドバイスをもらうことが望ましい。</p>
2. その人らしい暮らしを支える生活環境づくり					
(1) 居心地のよい環境づくり					
29	81	<p>居心地のよい共用空間づくり</p> <p>共用の空間(玄関、廊下、居間、台所、食堂、浴室、トイレ等)は、利用者にとって不快な音や光がないように配慮し、生活感や季節感を採り入れて、居心地よく過ごせるような工夫をしている</p>	<p>民家改修型のホームのため、共有空間は広くはないが、生活用品が身近におかれ生活感のある空間が作られている。また、利用者の状況にあわせてソファを置いたりテーブルの高さを変えるなど工夫されている。</p>		
30	83	<p>居心地よく過ごせる居室の配慮</p> <p>居室あるいは泊まりの部屋は、本人や家族と相談しながら、使い慣れたものや好みのものを活かして、本人が居心地よく過ごせるような工夫をしている</p>	<p>ベッドではなく布団で休まれる人、写真やカレンダーを飾ってある人、馴染みの家具を置く人など、それぞれに居心地よく過ごせるようになっている。</p>		

は、重点項目。

WAMNETに公開する際には、本様式のほか、事業所から提出された自己評価票(様式1)を添付すること。